

安心な町づくり…  
91億3519万円



生涯現役を目指して…23年度長寿を祝う会

# 22年度決算を認定

## 安定的な財政運営を維持

### ○ 健全化判断比率

各指標	22年度	21年度	比較
赤字比率(15%)	赤字なし	赤字なし	—
連結実質赤字比率(20%)	赤字なし	赤字なし	—
実質公債費比率(25%)	13.1%	15.3%	△2.2%
将来負担比率(350%)	18.1%	44.0%	△25.9%

財政健全化法に基づき、22年度における一般会計や特別会計、第三セクター等の決算を含めた各指標は、いずれも早期健全化基準を大きく下回り、安定的な財政運営が維持されています。

※( )内の%は、早期健全化の基準で、比率の数値が低いほど健全な財政状況を示します。

### ○ 資金不足比率

経営健全化基準は20%で、簡易水道事業、農業集落排水事業、病院会計事業のいずれも資金不足は発生していません。

算の執行においては、各会計とも適正に処理されているものと認められました。

財政調整基金や町債減債基金など積立金の残高は、23年3月31日現在で24億2574万円、前年度に比較すると7億3088万円(43・1%)の増となっています。

一方、全会計の町債(借金)の残高は、90億8026万円で、前年度に比較し4億6513万円(4・9%)の減となりました。

た。

町の台所事情を表す各種財政指標は、全般的に改善の傾向が見られますが、社会経済情勢の変化を見据え、今後とも健全な財政運営を望みます。

また、町税や各種負担金等においては、新たな滞納者が発生したり、未納額が増加している事例も見られることから、住民の負担の公平を期すためにも、収納に向けた一層の努力を望みます。

9月定例会は、14日から13日間の会期で開かれました。初日に、平成23年度各会計の補正予算や人事案件、22年度の各会計の決算などが提案されました。

補正予算や人事案件などの議案は輝くふるさと常任委員会に、一般会計と6つの特別会計の決算認定は、決算特別委員会を設置し、付託のうえ審議が行われ、すべての議案が原案どおり可決されました。また、一般質問では鈴木満議員、柴田勇雄議員、山岸はる美議員、辰柳敬一議員が、放射線の影響など町の諸課題について考えをいただきました。

### 決算審査意見

22年度一般会計は、支出総額67億7098万円で前年度比12億1296万円(21・8%)の増加となりました。

また、6特別会計の支出総額は、23億6421万円で前年度比1億5184万円(6・0%)減少しました。

平成22年度の収支決算は下表のとおり、国民健康保険事業勘定特別会計を除く、すべての会計で黒字決算となっています。

しかしながら、国民健康保険事業勘定特別会計の赤字については、普通地方交付税の交付制度の改正によるものであり、予

### 22年度会計別決算状況

会計名	収入	支出	収支差引額
一般会計	71億1,150万円	67億7,098万円	3億4,052万円
国民健康保険事業	11億2,404万円	11億2,700万円	△296万円
簡易水道事業	1億9,003万円	1億7,763万円	1,240万円
老人保健	86万円	86万円	—
農業集落排水事業	2億1,533万円	2億446万円	1,087万円
後期高齢者医療事業	6,795万円	6,422万円	373万円
国保病院事業	8億9,762万円	7億9,004万円	1億758万円
合計	96億733万円	91億3,519万円	4億7,214万円

(1万円未満四捨五入)

## 決算特別委員会の質疑と答弁

### 一般会計

#### モデル事業の導入

農林環境

問 個別補償モデル対策事業の導入実績は。

答 作付農家が197戸で、面積74・1畝となっています。

#### 飼料生産への助成

農林環境

問 デントコーン種子助成と自給粗飼料生産拡大モデル事業の対応面積は。

答 デントコーン種子助成は530畝ほどで、モデル事業は56畝となっています。

#### サルモネラの予防

農林環境

問 サルモネラ予防ワクチン接種の実績と発症数は。

答 接種数は、95戸4232頭で、発症数は昨年4件となっています。

### 乳幼児の医療助成

住民会計

問 本町では本年度から小学校卒業まで拡大したところだが、さらに拡大する考えは。

また、乳幼児だけ(県基準)に限定し、助成している県内の市町村数は。

答 拡大については、今後の医療費の動向や国保財政に与える影響等を検証し、状況を見ながら判断していきます。

また、県基準で実施しているのは、18市町村で52・9%です。

### 保育料無料の拡大

住民会計

問 本年度から5歳児は無料化されたが、さらに拡大する考えは。

答 5歳児全員を無料化することにより、町の負担が450万円ほど増加することから、今後の町財政に与える影響など、様々な要因を考慮しながら検討していきます。



### 三セクの決算状況

農林  
環境

**問** 四つのセクターの決算状況は。

**答** 葛巻畜産開発公社は、口蹄疫の発生が影響し、預託牛が減少しました。

葛巻高原食品加工(株)では、消費低迷の影響もありましたが、黒字経営となっています。グリーンテージくずまきは、大雪、地震などの影響を受け、初めて赤字決算となっています。エコワールドくずまきは、単年度では収支の均衡がとれた状況です。

### 不登校児等の対応

教育  
委員

**問** 21年度と22年度は、同じ人数となっているが、同じ生徒か。

また、心の教室相談員には、不登校の相談はないようだが。**答** 卒業もあつたり、対象者は違っています。

また、不登校の子どもについては、担任あるいは心の教室相談員が家庭に向いての対応が主となりますのでカウントされ

ていません。校長はじめ、職員全体で対応しています。

### 道路への倒木処理

建設  
水道

**問** 道路に倒れた木以外で倒れそうな木の処理は。

**答** 道路敷地分に倒れたものは、春から対応しています。

また、河川については、県から委託を受けて実施しています。



雪解けを待つて処理された道路に倒れた木

### 特別会計

#### 国民健康保険事業

住民  
会計

**問** 不能欠損額289万6500円の内容と収納未済額が1185万円減額となった要因は。

**答** 不能欠損処理の対象は、5人・19件で、生活保護の受給者が2人、居所不明などで住民登録を職権削除された人が2人、差し押さえ等ができる財産がない人が1人となっています。

収入未済額の減少となった要因としては、納税者の協力が主な要因と思っています。

また、岩手県滞納整理機構に職員を派遣し、滞納整理の手法を習得した職員の配置など、体制を充実するとともに、滞納整理機構との連携が確立されたことと考えています。

#### 簡易水道事業

建設  
水道

**問** 水道使用料収入未済額の内容は。

**答** 22年度分が123件で36万

#### 農業集落排水事業

建設  
水道

9815円で、21年度分が2件4250円となっていますが、現在、ほぼ収納されています。

**問** 収入未済額の内容は。

**答** 加入分担金と使用料です。分担金は、平成7年度からのものですが、分割した納付を勧めていますので、減少の傾向にあります。

また、使用料は現在、ほぼ収納されています。

#### 国保葛巻病院事業

葛巻  
病院

**問** 22年度当初予算からの診療単価等の推移は。

**答** 入院あるいは外来の診療報酬単価については、予算編成時の患者の状況に基づき設定し、積算しています。当初予算では、入院に対する看護基準を患者15人に対し看護師1人の見込みで計上していましたが、患者1人あたりの入院日数が短くなり、年度途中から基準を13人に対し1人に見直ししたことにより、入院単価が1割ほど増加しています。

## 定例会で決まったこと

### 専決処分

◆岩手県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少に関する協議

◆岩手県自治会館管理組合を組織する地方公共団体の数の減少に関する協議

一関市との合併に伴い、藤沢町が脱退しました。

### 条例改正

◆町税条例等の改正  
◆災害弔慰金の支給等に関する条例の改正

### 人事案件

◆副町長の選任  
觸澤義美氏(田子・62歳)を選任することに同意しました。再任。任期は10月1日から4年間です。

◆教育委員の任命  
千葉洋一氏(茶屋場・73歳)を任命することに同意しました。再任。任期は10月1日から4年間です。

◆固定資産評価審査委員の選任  
野表儀昭氏(田子・65歳)を選任することに同意しました。新任。任期は10月1日から3年間です。

### 賛成討論

#### 鈴木 満議員

要約

わたしは、平成22年度一般会計並びに特別会計の決算を認定することに賛成の立場から討論します。

一般会計の歳入では、国の経済対策関連や道路、農林、福祉関係など各種補助事業を導入し、収入を確保されました。

歳出では、地域情報通信基盤施設整備が完了し、町内全域で地上デジタル放送の視聴が可能となり、自主放送のくずまきテレビでは、町の話題や情報が得られ、高く評価するところです。

産業振興策では、デントコーン種子助成事業の継続、自給粗飼料生産拡大モデル事業や削減費助成事業、乳用牛導入事業を新たに実施し、酪農経営に対する支援に努めました。また、くずまき高原牧場に交流体験施設が完成し、各種事業等で利用すること、町の情報を発信し、誇りを持って酪農経営に取り組

む契機になると期待しています。

雇用対策では、若者あるいは高齢者の雇用促進事業を創設し、雇用機会の確保に努めるとともに、企業立地促進奨励事業費補助金を拡充し、地域経済の活性化と雇用の拡大を図りました。生活環境基盤の整備では、町道8路線の改良整備と老朽化した橋りょうを改修し、通行者の安全の確保を図りました。

教育振興では、葛巻小学校屋内運動場が完成。劣化が著しい校舎等の維持修繕を進め、教育環境づくりを推進しました。また、高等学校教育振興事業に対する助成を継続し、魅力ある学校づくりと葛巻高校の存続と発展に尽力しています。

子育て支援対策では認定こども園を開設しています。

昨年度は、集中豪雨、大雪、大震災など災害に見舞われましたが、災害復旧事業や河川災害関連事業、農地災害復旧事業、除雪対策経費の総額を確保し、施設の復旧に努め、町民の安心の確保に努めました。

以上のことから、各会計の決算の認定に賛成します。

### 補正予算

会計名	補正前予算額	今回の補正額	補正後予算額
一般会計	51億3,544万円	1億8,340万円	53億1,884万円
特別会計			
国民健康保険事業	11億1,898万円	1,473万円	11億3,371万円
簡易水道事業	1億6,863万円	1,240万円	1億8,103万円
病院事業			
資本的収入	7,695万円	3,695万円	1億1,390万円
資本的支出	8,813万円	5,105万円	1億3,918万円

(1万円未満は四捨五入)